

【消費生活の窓口から】

圧力鍋の使用にご注意を！

～ふたや内容物が飛ぶこともあり危険です!!～

圧力鍋は調理に便利な一方で、正しく使わないと、思わぬ事故が起きることがあります。必ず取扱説明書に従って使いましょう。

〈事例〉約 15 年前に購入した圧力鍋で豆を煮ていたところ、突然大きな音とともにふたとおもりが飛び、

顔と頭を縫うけがをした。圧力鍋のふたの手入れが不十分だった可能性がある。

(60 歳代 女性)

【アドバイス】

◆使用前は、異物が詰まっていないか、ふたがしっかり閉まるかなどを確認しましょう。使用後の手入れもしっかり行いましょう。

蒸気口など圧力調整部分が詰まった状態で使うと、ふたが飛んだり内容物が噴き出たりすることがあります。

◆亀裂などの劣化がみられるパッキンは使わず、新しいものと交換しましょう。

◆取扱説明書などで分量や調理方法を確認しましょう。

豆類などの皮のある食品やカレー・シチューなどの粘性の高い食品は、圧力調整部分に詰まる可能性があります。

◆購入する際は、国が定めた安全基準に適合していることを示す PSC マークや、電気圧力鍋の場合は、合わせて PSE マークの表示があるか確認しましょう。

「家庭用の圧力なべ及び圧力がま」は「PSC マーク」、「電気圧力鍋」は「PSC マーク+PSE マーク」を

付したものでなければ、販売・販売目的で陳列することができません。

出典：国民生活センターホームページ「[ふたや内容物が飛ぶことも！ 圧力鍋の使用に注意](#)」

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎ 6 6 2 - 2 5 9 3